

2024 年度 研究センター事業報告書

|         |               |
|---------|---------------|
| 研究センター名 | 地域健康社会学研究センター |
|---------|---------------|

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究センターの実施した全ての研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこないできるだけわかりやすく記述してください。

1. 地域健康社会学プロジェクト研究の推進

寄付研究プロジェクト（2016 年 4 月発足）時の主旨を引き継ぎ、生活習慣病の疫学研究、住民の参加・協働による地域健康創出をめざす基礎的研究、歴史・実践研究、現状分析・方法開発の総合的な研究を、以下のように展開した。

長年携わってきた厚生労働科研費である、滋賀医科大学三浦克之教授の NIPPON DATA 研究において、分担研究者として研究を担った。疫学研究として、ある疾患とある危険因子との関連はオッズ比あるいは相対危険度で示されることが多い。一方で、集団や人口全体に占める危険因子の規模は、その時代その時代を反映して変化していることから、相対危険度と集団における規模の大きさの両方が加味された指標である PAF（集団寄与危険度割合：Population attributable fraction）を用いて、政策的見地からも、疾患とその予防に対して分析を試みた。

2020 年から数年続いた COVID-19 は、国民の疾患に対する危機意識に与えた影響は大きく、生活様式も変化した。しかし、パンデミックが収束するとともに、国民の意識が低くなっているのが現状である。これからも同様の感染症危機が生じるかは未知数である。そこでリスクコミュニケーションのあり方を、当事者であった地域住民、医療機関、福祉施設、行政、国で検討を行った。その結果、フェーズや目的に応じて コミュニケーションを変えていく必要があることが理解できた。地域・健康・人文学プロジェクトにおいては、虐待等にかかわる臨床社会学的検討、複線径路等至性アプローチ（TEA）の理論的・実践的展開等を推進しつつ、健康に関わる諸領域での応用、特に専門家養成・教育における活用を進めた。

2. 外部資金獲得の推進

センターの運営資金として寄附金を保有するほか、参加研究者には JSPS 科研費、厚生労働行政推進調査事業費補助金を獲得している。また、個別の研究課題推進のため、科研費への申請も積極的に行った。センター長の早川が滋賀医科大学との共同研究を行い、疫学、公衆衛生学の観点から地域医療の可能性を模索するとともに、産学官連携や外部資金の獲得を見据えた研究を行った。

3. メディアを用いた専門的知識の発信

各メディアの特性を生かした独自の情報発信についても工夫や分析を行い、より効果的な情報発信に努めた。早川センター長は、KBS 京都ラジオにおいて、月に一回、健康や地域、生活習慣病、地域保健、健康格差など公衆衛生学に関連した話題提供を生番組で社会に伝えており、リスナーさんともやり取りを行った。また、当初より取り組んでいる地元ラジオ局の番組について、引き続き小学生目線で観た地域の高齢者への作文を発信した。これらの取り組みの中で、高齢者・子ども・地域の役割を明らかにし、地域社会への貢献を行った。

4. 社会貢献およびその他の活動

本研究センターの参加研究者は、専門的知識を活用し行政等の活動に貢献した。早川センター長は、2017 年度より「滋賀県データ活用事業プロジェクト会議」（滋賀県衛生科学センター）座長として、健康や医療、介護など滋賀県健康寿命延伸のための各種データを一体的に分析・活用し、市町や県における予防的取り組みの推進に貢献している。また、滋賀県保健事業部会に学識経験者として参加し、助言を行った。2018 年度から滋賀県草津保健所が実施する「県南地域みんなでコラボ」事業において座長を務め、働き盛りの住民の健康をまもるために、県南地域の地域・職域の枠を超えて連携を具体化していく取組に貢献している。京都府下、滋賀県下の自治体にて、各種団体における講演依頼や委員委嘱依頼を積極的に受け、新たな研究展開のシーズを開拓している。他の参加研究者も、多様な組織において専門家として貢献した。

## Ⅱ. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2025 年 3 月 31 日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、必ず若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員（PD・RPD）

| 役割                                        |                       | 氏名            | 所属               | 職位       |
|-------------------------------------------|-----------------------|---------------|------------------|----------|
| センター長                                     |                       | 早川 岳人         | 衣笠総合研究機構         | 教授       |
| 運営委員                                      |                       | 中村 正          | 産業社会学部           | 特任教授     |
|                                           |                       | 松田 亮三         | 産業社会学部           | 教授       |
|                                           |                       | サトウ タツヤ       | 総合心理学部           | 教授       |
|                                           |                       | 岡田 まり         | 産業社会学部           | 教授       |
|                                           |                       | 山口 洋典         | 共通教育推進機構         | 教授       |
|                                           |                       | 丹波 史紀         | 産業社会学部           | 教授       |
| 学内教員<br>(専任教員、研究系教員等)                     |                       | 小田巻 友子        | 経済学部             | 准教授      |
|                                           |                       |               |                  |          |
| 学内の<br>若手研究者                              | 専門研究員<br>研究員<br>初任研究員 |               |                  |          |
|                                           |                       |               |                  |          |
|                                           |                       |               |                  |          |
|                                           | 補助研究員・リサーチアシ<br>スタント  |               |                  |          |
|                                           |                       |               |                  |          |
|                                           | 大学院生                  | 金森 京子         | 社会学研究科           | 博士課程後期課程 |
|                                           |                       | 市川 岳仁         | 人間科学研究科          | 博士課程後期課程 |
|                                           |                       | 天野 諭          | 人間科学研究科          | 博士課程後期課程 |
|                                           |                       | 安發 明子         | 人間科学研究科          | 博士課程後期課程 |
|                                           |                       | 工藤 芳幸         | 人間科学研究科          | 博士課程後期課程 |
|                                           |                       | 向井 理菜         | 人間科学研究科          | 博士課程後期課程 |
|                                           |                       | 下郷 大輔         | 人間科学研究科          | 博士課程後期課程 |
|                                           |                       | ZHANG Qiuyang | 人間科学研究科          | 博士課程後期課程 |
|                                           | 学振特別研究員<br>(PD・RPD)   | 朴 希沙          | 人間科学研究科          | P D      |
|                                           |                       |               |                  |          |
| その他の学内者<br>(非常勤講師・研究生・研修生等・<br>博士前期課程院生等) |                       |               |                  |          |
|                                           |                       |               |                  |          |
| 客員協力研究員                                   |                       | 大倉 和子         | 明治国際医療大学看護学部看護学科 | 講師       |
|                                           |                       | 富澤 公子         | 立命館大学産業社会学部      | 非常勤講師    |
|                                           |                       | 日高 友郎         | 福島県立医科大学         | 講師       |
|                                           |                       | 西沢 いづみ        | 京都中央看護保健大学校      | 講師       |
|                                           |                       | 井上 英耶         | 滋賀県立衛生科学センター     | 主任技師     |
| その他の学外者<br>(他大学教員・若手研究者等)                 |                       | 高山 一夫         | 京都橘大学経済学部        | 教授       |
|                                           |                       |               |                  |          |
| センター構成員 計 23 名 (うち学内の若手研究者 計 8 名)         |                       |               |                  |          |

### Ⅲ. 研究業績（公開項目） ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。（2025年3月31日時点）

| 1. 著書 |                      |                                                                                                                                                                                       |           |          |                                                                                                       |                                      |             |
|-------|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|-------------|
| No.   | 氏名                   | 著書・論文等の名称                                                                                                                                                                             | 単著・共著の別   | 発行年月     | 発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称                                                                                  | その他編者・著者名                            | 担当頁数        |
| 1     | 山口洋典                 | 「集落のレジリエンスを高めるには」『コミュニティ・デザイン新論』                                                                                                                                                      | 共編者（共編著者） | 2024年9月  | さいはて社                                                                                                 | 新川達郎（監修）・川中大輔・山口洋典・弘本由香里（編）          | PP. 148-174 |
| 2     | 山口洋典                 | 集落〈復興〉：中越地震と限界集落の物語                                                                                                                                                                   | 共編者（共編著者） | 2024年12月 | 大阪大学出版会                                                                                               | 渥美公秀、関嘉寛、山口洋典（編）／柊健太、五味希、武澤潤、武澤博子（著） | PP. 368     |
| 3     | Hidaka T., Kasuga H. | Radioactive waste publicly placed in a space that used to be a yard as a private place: time and sign in the designated evacuation areas after Fukushima Nuclear Power Plant accident | 共著        | 2024年5月  | Information Age Publishing, The Semiotic Field of the Garden: Personal Culture and Collective Culture | Tepppei Tsuchimoto (Ed.)             | PP. 89-109  |
| 4     | 日高友郎                 | ぶ厚い記述                                                                                                                                                                                 | 共著        | 2025年3月  | 誠信書房, TEAと質的探究用語集                                                                                     | サトウタツヤ・安田裕子（監）                       | P. 107      |
| 5     | 日高友郎                 | アクションリサーチ                                                                                                                                                                             | 共著        | 2025年3月  | 誠信書房, TEAと質的探究用語集                                                                                     | サトウタツヤ・安田裕子（監）                       | P. 159      |
| 6     | 日高友郎                 | 厚生心理学                                                                                                                                                                                 | 共著        | 2025年3月  | 誠信書房, TEAと質的探究用語集                                                                                     | サトウタツヤ・安田裕子（監）                       | P. 193      |

| 2. 論文 |      |                                                                                                                                                                          |         |         |                           |                                                                                                                                                             |             |      |
|-------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|
| No.   | 氏名   | 著書・論文等の名称                                                                                                                                                                | 単著・共著の別 | 発行年月    | 発行所、発表雑誌、巻・号数             | その他編者・著者名                                                                                                                                                   | 担当頁数        | 査読有無 |
| 1     | 早川岳人 | Relationship Between Hemoglobin Concentration and Cardiovascular Disease Mortality in a 25-Year Follow-up Study of a Japanese General Population - NIPPON DATA90 ○に関する研究 | 共著      | 2024年4月 | Circulation Journal 88(5) | Kawashima M, Hisamatsu T, Harada A, Kadota A, Kondo K, Okami Y, Hayakawa T, Kita Y, Okayama A, Ueshima H, Okamura T, Miura K; NIPPON DATA90 Research Group. | PP. 742～750 | 有    |
| 2     | 早川岳人 | Comprehensive assessment of the impact of blood pressure, body mass index, smoking, and diabetes on healthy                                                              | 共著      | 2025年1月 | Journal of Epidemiology   | Tsukinoki R, Murakami Y, Hayakawa T, Kadota A,                                                                                                              |             | 有    |

|    |                  |                                                                                                                                                                               |    |               |                                                                   |                                                                                                  |              |   |
|----|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---|
|    |                  | life expectancy in Japan: NIPPON DATA90                                                                                                                                       |    |               |                                                                   | Harada A, Kita Y, Okayama A, Miura K, Okamura T, Ueshima H, for the NIPPON DATA90 Research Group |              |   |
| 3  | 山口洋典             | PBL の風と土：(29) カリキュラムが支援へと立ち上がる時                                                                                                                                               | 単著 | "2024 年 6 月"  | 対人援助学会対人援助学マガジン 15(1)                                             |                                                                                                  | PP. 155-160  | 無 |
| 4  | 山口洋典             | PBL の風と土：(30) 学びと成長につながる活動のピーク設定                                                                                                                                              | 単著 | 2024 年 9 月    | 対人援助学会対人援助学マガジン 15(2)                                             |                                                                                                  | PP. 278-283  | 無 |
| 5  | 山口洋典             | PBL の風と土：(31) あるものさがして地域での可能性を拡張                                                                                                                                              | 単著 | "2024 年 12 月" | 対人援助学会対人援助学マガジン 15(3)                                             |                                                                                                  | PP. 163-168  | 無 |
| 6  | 山口洋典             | PBL の風と土：(32) キャンパスを横断しつつ地域に根ざして                                                                                                                                              | 単著 | "2025 年 3 月"  | 対人援助学会対人援助学マガジン 15(4)                                             |                                                                                                  | PP. 186-191  | 無 |
| 7  | 山口洋典             | 立命館大学におけるサービス・ラーニングと地域連携：キャンパス特性を活かした学びと成長への教育実践とキャンパスを横断した地域貢献                                                                                                               | 単著 | "2025 年 3 月"  | 立命館大学教育開発推進機構<br>立命館高等教育研究 25                                     | 小辻寿規、秋吉恵                                                                                         | PP. 1-18     | 有 |
| 8  | 山口洋典             | キャンパス隣地・近隣とのパートナーシップの推進を通じた教学の充実：衣笠キャンパスにおける歴史・文化的なプログラムの構築を事例に                                                                                                               | 単著 | "2025 年 3 月"  | 立命館大学教育開発推進機構<br>立命館高等教育研究 25                                     | 大場茂生、加藤晶洋、久保裕之、櫻井稔也、田中真也、三ツ野直樹                                                                   | PP. 37-56    | 有 |
| 9  | 小田巻友子            | 小さな声の人たちと共に進める優しいまちづくり                                                                                                                                                        | 単著 | 2024 年 6 月    | くらしと協同の研究所、季刊くらしと協同、48 号                                          |                                                                                                  | PP. 28-34    | 無 |
| 10 | 小田巻友子            | 医療福祉生活協同組合のたまり場が地域に醸成し続けるもの                                                                                                                                                   | 単著 | 2024 年 12 月   | くらしと協同の研究所、季刊くらしと協同、50 号                                          |                                                                                                  | PP. 33-39    | 無 |
| 11 | <u>Hidaka T.</u> | Female migrants into Fukushima: A qualitative approach to their migration-support needs after the nuclear accident                                                            | 共著 | 2024 年 8 月    | PLOS, PLoS ONE, 19 巻 8 号                                          | Kobayashi T, Mizuki R, Kobayashi A, Maeda M                                                      | PP. e0309013 | 有 |
| 12 | <u>Hidaka T.</u> | Factors ensuring healthy work environments for municipal office workers in the disaster area after the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident: A qualitative analysis | 共著 | 2025 年 1 月    | Elsevier, International Journal of Disaster Risk Reduction, 116 巻 | Kobayashi A, Kobayashi T, Maeda M, Mizuki R.                                                     | PP. 105125   | 有 |

|    |       |                                                                 |    |         |                                  |                          |           |   |
|----|-------|-----------------------------------------------------------------|----|---------|----------------------------------|--------------------------|-----------|---|
| 13 | 日高友郎・ | 項目自己生成式職場改善ニーズ調査法 (SWING) の現場実装：新興ヘルステック企業との共同実践を通じた課題の抽出と理論的示唆 | 共著 | 2025年3月 | 立命館大学ものづくり質的研究センター，質的研究と社会実装, 2巻 | 山田洋太・遠藤翔太・春日秀朗・増石有佑・各務竹康 | PP. 19-48 | 無 |
|----|-------|-----------------------------------------------------------------|----|---------|----------------------------------|--------------------------|-----------|---|

| 3. 研究発表等 |       |                                                                                       |            |                                                                                         |                                                                                                |
|----------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| No.      | 氏名    | 発表題名                                                                                  | 発表年月       | 発表会議名、開催場所                                                                              | その他発表者名                                                                                        |
| 1        | 松田亮三  | 極東アジアにおける医療機構—状況把握的なレビュー                                                              | 2024年11月   | 日本医療福祉政策学会 2024年度（第8回）研究大会                                                              | 松田 亮三                                                                                          |
| 2        | 松田亮三  | Awareness and policy responses to 'young carers' in Japan: changes in the last decade | 2025年2月    | International Postgraduate and Academic Conference 2025                                 | Matusda,R. and Saito, M.                                                                       |
| 3        | 山口洋典  | 災害ボランティアにおけるマイクロ・マクロ・リンク：支援と受援の相互関係から見る令和6年能登半島地震のグループ・ダイナミックス                        | 2024年8月    | 日本グループ・ダイナミックス学会第70回大会                                                                  | 宮本 匠（大阪大学）・宮前 良平（福山市立大学）・渥美 公秀（大阪大学）・頼政 良太（関西学院大学・被災地 NGO 協働センター）                              |
| 4        | 山口洋典  | ボランティア元年・30年：阪神・淡路大震災から令和6年能登半島地震の支援の今を見つめて                                           | 2025年2月    | 国際ボランティア学会第26回大会                                                                        | 中村 安秀（日本 WHO 協会）、関 嘉寛（関西学院大学）、竹端 寛（兵庫県立大学）、山口 穂菜美（立命館大学）、熊谷 朋也（関西学院大学）、越岡 滉周（龍谷大学）、山本 安紋（龍谷大学） |
| 5        | 岡田まり  | スーパービジョン養成プログラムのモデル開発—現在までの成果と今後の方向性—                                                 | 2024年6月23日 | 第32回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会、栃木                                                             | 片岡靖子、潮谷恵美、野村豊子                                                                                 |
| 6        | 小田巻友子 | 保育への親の参加の意味づけ—親へのインタビュー調査から                                                           | 2024年5月19日 | 社会政策学会第148回大会、慶応義塾大学                                                                    |                                                                                                |
| 7        | 日高友郎  | 医学生が他者を／研究者が教育効果を知るための質的研究法：医学教育研究に対する心理学者の方法論的貢献                                     | 2024年8月    | 第56回日本医学教育学会大会、東京都                                                                      |                                                                                                |
| 8        | 日高友郎  | 複数回のインタビューによる語りの促し、研究者の気づき                                                            | 2024年9月    | 日本心理学会第88回大会、熊本市                                                                        |                                                                                                |
| 9        | 日高友郎  | 福島第一原子力発電所事故からの復興過程において自治体職員が経験した国との困難な関係性と心理的苦痛                                      | 2024年9月    | 日本心理学会第88回大会、熊本市                                                                        | 春日秀朗・各務竹康                                                                                      |
| 10       | 日高友郎  | 大熊町フィールドワーク研究(1)：移境に留まる経験としての故郷喪失                                                     | 2024年10月   | 日本質的心理学会第21回大会、東京都                                                                      | 鈴木祐子・本間（照井）稔宏・春日秀朗・各務竹康・川本静香・サトウタツヤ                                                            |
| 11       | 日高友郎  | 大熊町フィールドワーク研究(2)：原子力災害によって長期避難となった女性の心の動き                                             | 2024年10月   | 日本質的心理学会第21回大会、東京都                                                                      | 鈴木祐子・本間（照井）稔宏・春日秀朗・各務竹康・川本静香・サトウタツヤ                                                            |
| 12       | 日高友郎  | 国会議事録における「心の復興」の言及・推移のテキストマイニング：復興課題の展望                                               | 2024年10月   | 第82回日本公衆衛生学会総会、北海道                                                                      | 春日秀朗・遠藤翔太・増石有佑・各務竹康                                                                            |
| 13       | 日高友郎  | 福島への移住者女性における支援ニーズのボトムアップ的理解                                                          | 2025年3月    | 環境省委託事業「放射線健康管理・健康不安対策事業（放射線の健康影響に係る研究調査事業）研究成果報告会「新しい復興の形に向き合う：帰還者と移住者の共生的発展を目指して」、福島県 |                                                                                                |

| 4. 主催したシンポジウム・研究会等 |                              |                     |          |      |                                                                               |
|--------------------|------------------------------|---------------------|----------|------|-------------------------------------------------------------------------------|
| No.                | 発表会議名                        | 開催場所                | 発表年月     | 来場者数 | 共催機関名                                                                         |
| 1                  | 福島原発事故からの復興に関する文化心理学研究会（第6回） | 福島県立医科大学<br>駅前キャンパス | 2024年8月  | 15名  | 該当なし；<br>科学研究費補助金「震災復興による帰還展望の逆説的な喪失：「復興疎外」の発生経緯・実態解明と心理支援」（基盤C、代表：日高友郎）にて実施。 |
| 2                  | テキストマイニング研究会                 | 福島県立医科大学<br>駅前キャンパス | 2024年12月 | 10名  | 該当なし                                                                          |

| 5. その他研究活動（報道発表や講演会等） |      |                                                       |                                                          |                 |
|-----------------------|------|-------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------|
| No.                   | 氏名   | 研究業績名                                                 | 発表場所等                                                    | 研究期間            |
| 1                     | 早川岳人 | 滋賀県国民健康保険保健事業部会                                       | 滋賀県                                                      | 2016年4月～        |
| 2                     | 早川岳人 | 滋賀県の健康寿命延伸に関する検討委員会                                   | 滋賀県衛生科学センター                                              | 2017年4月～        |
| 3                     | 早川岳人 | 湖南圏域みんなでコラボ(滋賀県湖南圏域保健所)                               | 草津保健所                                                    | 2017年4月～        |
| 4                     | 早川岳人 | "公益社団法人 認知症のひとと家族の会 理念と未来を考える                         | "2024年度 茨城県支部（1月18日）神奈川県支部（2月2日）長崎県支部（2月16日）愛媛県支部（3月2日）" | 2018年1月～        |
| 6                     | 早川岳人 | 栗東市健康づくり推進会議                                          | 滋賀県栗東市                                                   | 2022年2月～        |
| 7                     | 早川岳人 | 亀岡市健康づくり推進会議                                          | 亀岡市役所                                                    | 2023年2月～        |
| 8                     | 早川岳人 | 栗東市食育推進会議                                             | 滋賀県栗東市                                                   | 2023年4月～        |
| 9                     | 早川岳人 | 滋賀県高齢者審議会                                             | 滋賀県庁                                                     | 2024年3月～2025年3月 |
| 10                    | 早川岳人 | KBS 京都ラジオ さらピン！キョウト                                   | KBS 京都ラジオ                                                | 2021年4月～2025年3月 |
| 11                    | 早川岳人 | 滋賀県看護協会訪問看護ステーション実態調査検討委員会                            | 滋賀県看護協会                                                  | 2024年4月～        |
| 12                    | 早川岳人 | 感染症危機について考える 新興感染症発生時に備えた保健・医療・福祉分野におけるリスクコミュニケーションとは | 滋賀県健康医療福祉部健康危機管理課                                        | 2024年11月29日     |
| 13                    | 松田亮三 | 社会保障と医療                                               | 大阪府看護協会 認定看護管理者教育課程セカンドレベル                               | 2024年6月         |
| 14                    | 松田亮三 | 日本社会の変化と 保健医療の課題～その中で保健師に求められること～                     | 第47回近畿地区市町村保健師研修会                                        | 2024年11月        |
| 15                    | 松田亮三 | 社会保障と医療                                               | 大阪府看護協会認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修                              | 2024年11月        |
| 16                    | 富澤公子 | 百寿者と家族の物語1話                                           | 奄美新聞 文化面                                                 | 2024年6月         |
| 17                    | 富澤公子 | 百寿者と家族の物語2話                                           | 奄美新聞 文化面                                                 | 2024年6月         |
| 18                    | 日高友郎 | 被災地コミュニティの形成に向けた心のケアフレームワーク―帰還者と                      | 福島県立医科大学医学部・災害こころの医学講座                                   | 2022年4月～2025年3月 |

|  |  |                                |                                                                                                     |  |
|--|--|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|  |  | 移住者による共生的発展をめざして<br>(2024 年度版) | <a href="https://www.d-kokoro.com/">https://www.d-kokoro.com/</a><br>環境省委託研究事業 前田研究班（前田正治・<br>小林智之） |  |
|--|--|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--|

| 6. 受賞学術賞 |    |       |     |      |      |
|----------|----|-------|-----|------|------|
| No.      | 氏名 | 授与機関名 | 受賞名 | タイトル | 受賞年月 |

| 7. 科学研究費助成事業（科研費） |       |                                           |           |            |            |    |
|-------------------|-------|-------------------------------------------|-----------|------------|------------|----|
| No.               | 氏名    | 研究課題                                      | 研究種目      | 開始年月       | 終了年月       | 役割 |
| 1                 | 松田亮三  | 個人のライフコースと地域環境の変化を統合する健康地理学の研究            | 基盤研究(A)   | 2020 年 4 月 | 2025 年 3 月 | 分担 |
| 2                 | 松田亮三  | 「ヘルスケア政策史研究」領域創成の基盤構築とアーカイブズ整備－PPI の実践と共に | 挑戦的研究(開拓) | 2023 年 6 月 | 2026 年 3 月 | 分担 |
| 3                 | 山口洋典  | 理論と実践の往還を通した越境的学びによる日本語教師養成プログラムの開発と検証    | 基盤研究(B)   | 2022 年 4 月 | 2026 年 3 月 | 分担 |
| 4                 | 岡田まり  | ソーシャルマーケティングによるスーパービジョンの普及                | 基盤研究(B)   | 2024 年 4 月 | 2029 年 3 月 | 代表 |
| 5                 | 小田巻友子 | 保育サービス生産への親の参加が及ぼす影響と参加を阻む社会経済的要因の検討      | 若手研究      | 2021 年 4 月 | 2025 年 3 月 | 代表 |
| 6                 | 日高友郎  | 震災復興による帰還展望の逆説的な喪失：「復興疎外」の発生経緯・実態解明と心理支援  | 基盤研究(C)   | 2024 年 4 月 | 2027 年 3 月 | 代表 |
| 7                 | 日高友郎  | 福島県の吃音支援システムの構築を目指したアクションリサーチ             | 基盤研究(C)   | 2023 年 4 月 | 2026 年 3 月 | 分担 |

| 8. 科研費を除くすべての外部資金（政府系、民間財団、民間企業との共同研究費等） |      |                                                                                             |                                             |            |            |    |
|------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|------------|------------|----|
| No.                                      | 氏名   | 研究課題                                                                                        | 資金制度・研究費名                                   | 採択年月       | 終了年月       | 役割 |
| 1                                        | 早川岳人 | 国民代表集団のコホート研究によるウィズ・コロナ時代の健康格差・健康寿命の規定要因の解明および健康調査のオンライン化の検討                                | 厚生労働行政推進調査事業費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 200 | 2024 年 4 月 | 2026 年 3 月 | 分担 |
| 2                                        | 日高友郎 | 働きやすい職場の調査手段としての the Systematic Workplace-Improvement Needs Generation(以下、SWING) の有効性に対する研究 | iCARE 株式会社・受託研究                             | 2022 年 9 月 | 2024 年 7 月 | 代表 |

| 9. 知的財産権 |    |    |       |       |      |      |          |   |
|----------|----|----|-------|-------|------|------|----------|---|
| No.      | 氏名 | 名称 | 出願人区分 | 発明人区分 | 出願番号 | 公開番号 | 登録（特許）番号 | 国 |